

令和7年9月12日

All for 六中 ※このお便りは全校向けお便りです。

Rainbow

～六中ユニバーサルデザイン～



調布市立第六中学校

校内通級教室

No.4

あっという間に44日間の夏休みが終了し、中間考査が近づいてきました。校内通級教室では、学校全体のインクルーシブ教育の構築に向けて取り組み、この「Rainbow」で様々な情報をお伝えしています。今月は、マルチメディアデージー教科書についてと、変わり始めた宿題についてお話しします。

デージー教科書を知っていますか？

～希望すればだれでも使用できます！～

デージー教科書とは、日本障害者リハビリテーション協会が提供している全教科対応のweb音声教材です。教科書のテキストを音声で読み上げる機能や、漢字にルビをふる機能、文字サイズ、文字色、背景色の変更など、文章が読むことを苦手な生徒や、日本語が苦手な生徒にとって役立つ機能が充実しています。家庭学習での使用が基本となりますが、希望すれば授業でも使えます。

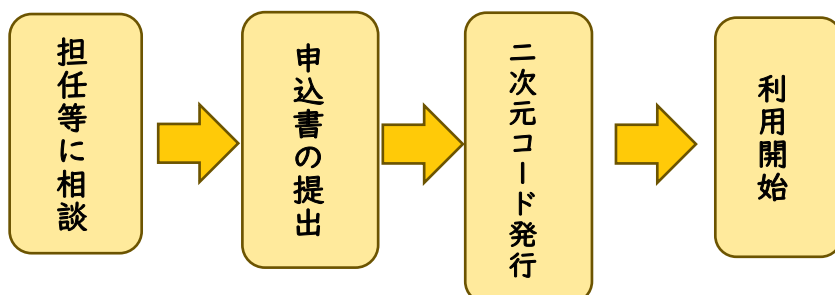


(『DEISY』Web サイトより参照)

このデージー教科書は、医師の診断書の有無など利用のための条件がなく、申請した生

徒は誰でも利用することが可能です。

～申し込みから利用までの流れ～



体験用アカウント

はこちら↓



(『DEISY』Web サイトより参照)

デージーの利用を検討される方は、担任又は特別支援教育コーディネーターまでご相談ください。

宿題の在り方が変わりました

昨年度まで本校では、定期試験や長期休みの際に、各教科からワークやプリントなどの提出物が課され、それを期限までに提出し評価するという形式が取られていました。しかし、実際に課された提出物のページ総数は約200ページを超える量となるなど、生徒の負担がとても大きいことがわかりました。また、それぞれ違った環境で取り組んできた課題を同等に評価することに対しての公平性を見直しました。

そこで今年度より本校では、「宿題」ではなく「やっておくとよいページ」という風に提示を変え、授業内で取り組んだものを主に評価する「授業と評価の一体化」を目指し、動き始めました。

今回は、変わり始めた宿題の在り方について、実際に生徒たちはどのように感じているのかを紹介させていただきます。

夏休みの宿題が減ってとても良かったと感じます。これまでの夏休みは宿題がとても多くて、学習に対してのモチベーションがとても下がっていました。しかし宿題が減ったことによって、自分のやりたい学習に取り組むことができ、モチベーション高く自宅学習に取り組むことができました。その結果、いつもは夏休み明けに学校に行くことがすこし憂鬱だったけれども、今年は夏休み明けに学校に行くことが、いつもより憂鬱ではなかったような気がします。

2年・男子

今年の夏休みの宿題は、去年に比べてワークなどの量が減っていたので驚きました。私は計画的に取り組むのが苦手なので、去年は夏休み最終日まで課題に取り組んでいましたが、今年は提出物に追われることなく過ごすことができました。今年は「提出はないけれど自分で取り組んでおくの良い課題」が各教科から出ていたので、提出物を終えた後は、自分なりにできる学習に取り組みました。時間に余裕ができた分、楽しい時間もたくさん持てて、充実した夏休みになったと思います。

2年・女子

今年の夏休みの宿題には、自分の努力の量がそのままテストで試されるというものがありました。自分は、指定された量の課題をこなすよりも、自分で努力する今年の課題の形がいいなと感じました。理由は、夏休みに自分の努力した量がそのまま評価につながる今回の宿題の形が、自分の学習のモチベーションになったからです。また、今までの課題は、決められた範囲をはやく終わらせなければというプレッシャーや、やらされている感があったけれど、今回の形は自分のペースで学習に取り組むことができ、とても自分に合っていたと思います。

1年・男子

お子様のことでご心配なことがありましたら、いつでもお気軽にご相談ください。

第六中学校 校内通級教室主任（特別支援教育コーディネーター） □□□□

□□□□ □□□□ □□□□ □□□□ □□□□ □□□□

特別支援コーディネーター □1学年 □□□□ □2学年 □□□□ □3学年 □□□□